

2023事業年度

決算報告書

自 2023年 4 月 1日

至 2024年 3 月31日

目 次

貸 借 対 照 表
正味財産増減計算書
計算書類の附属明細書
財 産 目 録
監 事 監 査 報 告 書
独立監査人の監査報告書

貸 借 対 照 表

2024年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	180,192,223	183,546,477	△ 3,354,254
未収金	478,395,478	457,503,914	20,891,564
前払金	32,721,412	34,407,365	△ 1,685,953
流動資産合計	691,309,113	675,457,756	15,851,357
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
建物及び附属設備	2	2	0
構築物	62,576,653	71,817,837	△ 9,241,184
什器備品	7,292,681	12,757,207	△ 5,464,526
退職給付引当資産	261,593,100	246,990,542	14,602,558
研究助成事業拡充資金	0	20,000,000	△ 20,000,000
特定資産合計	331,462,436	351,565,588	△ 20,103,152
(3) その他固定資産			
建物及び附属設備	13,875,455	15,255,974	△ 1,380,519
構築物	241,386,444	293,721,146	△ 52,334,702
什器備品	16,799,485	16,700,281	99,204
リース資産	0	15,518,880	△ 15,518,880
ソフトウェア	488,949	967,501	△ 478,552
電話加入権	1,807,836	1,807,836	0
敷金	36,204,070	36,204,070	0
保証金	1,908,332	2,068,332	△ 160,000
その他固定資産合計	312,470,571	382,244,020	△ 69,773,449
固定資産合計	943,933,007	1,033,809,608	△ 89,876,601
資産合計	1,635,242,120	1,709,267,364	△ 74,025,244

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	78,494,379	66,360,782	12,133,597
預り金	9,157,813	4,383,242	4,774,571
短期借入金	260,000,000	290,000,000	△ 30,000,000
短期リース債務	0	16,653,823	△ 16,653,823
賞与引当金	18,669,659	18,020,864	648,795
流動負債合計	366,321,851	395,418,711	△ 29,096,860
2. 固定負債			
退職給付引当金	253,109,100	232,542,542	20,566,558
役員退職慰労引当金	8,484,000	14,448,000	△ 5,964,000
固定負債合計	261,593,100	246,990,542	14,602,558
負債合計	627,914,951	642,409,253	△ 14,494,302
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
政府機関補助金	69,733,745	84,358,339	△ 14,624,594
科学研究費補助金受贈資産	135,591	216,707	△ 81,116
地方公共団体出捐金	89,000,000	89,000,000	0
寄付金	198,551,000	198,551,000	0
指定正味財産合計	357,420,336	372,126,046	△ 14,705,710
(うち基本財産への充当額)	(287,551,000)	(287,551,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(69,869,336)	(84,575,046)	(△14,705,710)
2. 一般正味財産	649,906,833	694,732,065	△ 44,825,232
(うち基本財産への充当額)	(12,449,000)	(12,449,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(20,000,000)	(△20,000,000)
正味財産合計	1,007,327,169	1,066,858,111	△ 59,530,942
負債及び正味財産合計	1,635,242,120	1,709,267,364	△ 74,025,244

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(21,072)	(34,001)	(△ 12,929)
基本財産受取利息	21,072	34,001	△ 12,929
② 特定資産運用益	(3,744)	(4,902)	(△ 1,158)
特定資産受取利息	3,744	4,902	△ 1,158
③ 事業収益	(1,244,032,541)	(1,314,199,950)	(△ 70,167,409)
研究業務支援事業収益	559,249,942	538,691,690	20,558,252
政府機関受託研究収益	259,454,199	262,025,460	△ 2,571,261
民間企業等受託研究収益	425,328,400	513,482,800	△ 88,154,400
④ 受取補助金等	(14,624,587)	(19,948,028)	(△ 5,323,441)
受取政府機関補助金振替額	14,624,587	19,948,028	△ 5,323,441
⑤ 受取寄付金	(210,916)	(81,116)	(129,800)
受取寄付金	129,800	0	129,800
固定資産受贈益振替額	81,116	81,116	0
⑥ 雑収益	(1,052,742)	(658,444)	(394,298)
受取利息	1,597	1,718	△ 121
雑収益	1,051,145	656,726	394,419
経常収益計	1,259,945,602	1,334,926,441	△ 74,980,839
(2) 経常費用			
① 事業費	(1,255,335,030)	(1,244,487,042)	(10,847,988)
役員報酬	15,838,393	13,524,000	2,314,393
給料手当	376,662,824	359,300,780	17,362,044
賞与引当金繰入額	17,509,111	16,459,905	1,049,206
臨時雇賃金	83,308,467	89,309,577	△ 6,001,110
退職給付費用	22,303,203	18,831,051	3,472,152
法定福利費	76,752,319	75,244,118	1,508,201
福利厚生費	3,122,102	3,486,433	△ 364,331
人材派遣費	84,666,763	60,177,582	24,489,181
会議費	5,680,311	5,196,967	483,344
旅費交通費	27,652,283	27,628,227	24,056
通信運搬費	21,030,707	21,406,484	△ 375,777
減価償却費	91,721,024	119,825,689	△ 28,104,665
図書購入費	667,498	772,133	△ 104,635
消耗品費	5,673,248	12,946,183	△ 7,272,935
修繕費	9,118,208	4,067,627	5,050,581

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	4,747,349	4,405,118	342,231
光熱水料費	5,921,445	7,201,688	△ 1,280,243
調査研究費	129,033,204	145,121,018	△ 16,087,814
保守点検費	31,145,561	35,748,224	△ 4,602,663
データベース諸費	26,933,029	14,514,241	12,418,788
賃借料	100,142,837	96,330,083	3,812,754
清掃費	2,607,515	2,525,305	82,210
諸謝金	26,122,164	24,866,502	1,255,662
支払助成金	1,000,000	1,010,376	△ 10,376
情報啓蒙費	6,613,909	3,548,869	3,065,040
保険料	1,192,560	1,105,123	87,437
諸会費	3,697,428	2,446,466	1,250,962
租税公課	70,335,215	69,937,578	397,637
支払利息	1,306,893	3,219,372	△ 1,912,479
雑費	2,829,460	4,330,323	△ 1,500,863
② 管理費	(41,889,104)	(51,517,497)	(△ 9,628,393)
役員報酬	6,607,465	8,624,000	△ 2,016,535
給料手当	15,275,250	19,813,273	△ 4,538,023
賞与引当金繰入額	1,160,548	1,560,959	△ 400,411
退職給付費用	2,591,555	2,869,025	△ 277,470
法定福利費	3,123,532	3,559,978	△ 436,446
会議費	2,016	1,750	266
旅費交通費	968,826	1,062,257	△ 93,431
通信運搬費	39,041	47,841	△ 8,800
減価償却費	61,714	58,029	3,685
消耗品費	65,058	100,348	△ 35,290
印刷製本費	207,944	236,940	△ 28,996
光熱水料費	149,760	305,779	△ 156,019
保守点検費	285,120	55,000	230,120
賃借料	2,459,441	3,558,405	△ 1,098,964
清掃費	187,255	269,465	△ 82,210
諸謝金	5,238,733	5,213,120	25,613
保険料	107,460	112,277	△ 4,817
諸会費	283,000	250,000	33,000
租税公課	3,023,765	3,719,112	△ 695,347
支払利息	47,991	83,439	△ 35,448
雑費	3,630	16,500	△ 12,870
経常費用計	1,297,224,134	1,296,004,539	1,219,595
当期経常増減額	△ 37,278,532	38,921,902	△ 76,200,434

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	7	3,373,802	△ 3,373,795
① 受取補助金等	(7)	(14)	(△7)
受取政府機関補助金振替額	7	14	△ 7
② 雑収益	(0)	(3,373,788)	(△ 3,373,788)
雑収益	0	3,373,788	△ 3,373,788
(2) 経常外費用	7,546,707	180,046	7,366,661
① 特定資産除却損	(7)	(14)	(△7)
什器備品除却損	7	14	△ 7
② 固定資産除却損	(7,546,700)	(180,032)	(7,366,668)
建物及び附属設備除却損	0	153,024	△ 153,024
構築物除却損	7,438,513	0	7,438,513
什器備品除却損	108,187	8	108,179
ソフトウェア除却損	0	27,000	△ 27,000
当期経常外増減額	△ 7,546,700	3,193,756	△ 10,740,456
当期一般正味財産増減額	△ 44,825,232	42,115,658	△ 86,940,890
一般正味財産期首残高	694,732,065	652,616,407	42,115,658
一般正味財産期末残高	649,906,833	694,732,065	△ 44,825,232
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(0)	(0)	(0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	(0)	(0)	(0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	(△ 14,705,710)	(△ 20,029,158)	(5,323,448)
受取政府機関補助金振替額	△ 14,624,594	△ 19,948,042	5,323,448
什器備品受贈益振替額	△ 81,116	△ 81,116	0
当期指定正味財産増減額	△ 14,705,710	△ 20,029,158	5,323,448
指定正味財産期首残高	372,126,046	392,155,204	△ 20,029,158
指定正味財産期末残高	357,420,336	372,126,046	△ 14,705,710
III 正味財産期末残高	1,007,327,169	1,066,858,111	△ 59,530,942

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(10,536)	(10,536)	(21,072)
基本財産受取利息	10,536	10,536	21,072
② 特定資産運用益	(3,182)	(562)	(3,744)
特定資産受取利息	3,182	562	3,744
③ 事業収益	(1,194,271,239)	(49,761,302)	(1,244,032,541)
研究業務支援事業収益	536,879,944	22,369,998	559,249,942
政府機関受託研究収益	249,076,031	10,378,168	259,454,199
民間企業等受託研究収益	408,315,264	17,013,136	425,328,400
④ 受取補助金等	(14,624,587)	(0)	(14,624,587)
受取政府機関補助金振替額	14,624,587	0	14,624,587
⑤ 受取寄付金	(210,916)	(0)	(210,916)
受取寄付金	129,800	0	129,800
固定資産受贈益振替額	81,116	0	81,116
⑥ 雑収益	(1,010,632)	(42,110)	(1,052,742)
受取利息	1,533	64	1,597
雑収益	1,009,099	42,046	1,051,145
経常収益計	1,210,131,092	49,814,510	1,259,945,602
(2) 経常費用			
① 事業費	(1,255,335,030)	(0)	(1,255,335,030)
役員報酬	15,838,393	0	15,838,393
給料手当	376,662,824	0	376,662,824
賞与引当金繰入額	17,509,111	0	17,509,111
臨時雇賃金	83,308,467	0	83,308,467
退職給付費用	22,303,203	0	22,303,203
法定福利費	76,752,319	0	76,752,319
福利厚生費	3,122,102	0	3,122,102
人材派遣費	84,666,763	0	84,666,763
会議費	5,680,311	0	5,680,311
旅費交通費	27,652,283	0	27,652,283
通信運搬費	21,030,707	0	21,030,707
減価償却費	91,721,024	0	91,721,024
図書購入費	667,498	0	667,498
消耗品費	5,673,248	0	5,673,248

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
修繕費	9,118,208	0	9,118,208
印刷製本費	4,747,349	0	4,747,349
光熱水料費	5,921,445	0	5,921,445
調査研究費	129,033,204	0	129,033,204
保守点検費	31,145,561	0	31,145,561
データベース諸費	26,933,029	0	26,933,029
賃借料	100,142,837	0	100,142,837
清掃費	2,607,515	0	2,607,515
諸謝金	26,122,164	0	26,122,164
支払助成金	1,000,000	0	1,000,000
情報啓蒙費	6,613,909	0	6,613,909
保険料	1,192,560	0	1,192,560
諸会費	3,697,428	0	3,697,428
租税公課	70,335,215	0	70,335,215
支払利息	1,306,893	0	1,306,893
雑費	2,829,460	0	2,829,460
② 管理費	(0)	(41,889,104)	(41,889,104)
役員報酬	0	6,607,465	6,607,465
給料手当	0	15,275,250	15,275,250
賞与引当金繰入額	0	1,160,548	1,160,548
退職給付費用	0	2,591,555	2,591,555
法定福利費	0	3,123,532	3,123,532
会議費	0	2,016	2,016
旅費交通費	0	968,826	968,826
通信運搬費	0	39,041	39,041
減価償却費	0	61,714	61,714
消耗品費	0	65,058	65,058
印刷製本費	0	207,944	207,944
光熱水料費	0	149,760	149,760
保守点検費	0	285,120	285,120
賃借料	0	2,459,441	2,459,441
清掃費	0	187,255	187,255
諸謝金	0	5,238,733	5,238,733
保険料	0	107,460	107,460
諸会費	0	283,000	283,000
租税公課	0	3,023,765	3,023,765
支払利息	0	47,991	47,991
雑費	0	3,630	3,630
経常費用計	1,255,335,030	41,889,104	1,297,224,134
当期経常増減額	△ 45,203,938	7,925,406	△ 37,278,532

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取補助金等	(7)	(0)	(7)
受取政府機関補助金振替額	7	0	7
② 雑収益	(0)	(0)	(0)
雑収益	0	0	0
経常外収益計	7	0	7
(2) 経常外費用			
① 特定資産除却損	(7)	(0)	(7)
什器備品除却損	7	0	7
② 固定資産除却損	(7,546,700)	(0)	(7,546,700)
構築物除却損	7,438,513	0	7,438,513
什器備品除却損	108,187	0	108,187
経常外費用計	7,546,707	0	7,546,707
当期経常外増減額	△ 7,546,700	0	△ 7,546,700
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 52,750,638	7,925,406	△ 44,825,232
一般正味財産期首残高			694,732,065
一般正味財産期末残高			649,906,833
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(0)	(0)	(0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	(0)	(0)	(0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	(△ 14,705,710)	(0)	(△ 14,705,710)
受取政府機関補助金振替額	△ 14,624,594	0	△ 14,624,594
什器備品受贈益振替額	△ 81,116	0	△ 81,116
当期指定正味財産増減額	△ 14,705,710	0	△ 14,705,710
指定正味財産期首残高			372,126,046
指定正味財産期末残高			357,420,336
III 正味財産期末残高			1,007,327,169

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

記載すべき事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は保有していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 自己所有の固定資産

定額法による減価償却を実施している。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金： 職員の退職給付に備えるため、期末要支給額（簡便法）により算定した金額を計上している。

役員退職慰労引当金： 役員に対する退職慰労金の支給に備えるため、期末要支給額により算定した金額を計上している。

賞与引当金： 職員に対する賞与の支給に備えるため、翌年度の支給見込額のうち、当年度に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引でリース料総額が3,000,000円以上のものは通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

上記以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

利息相当額の算定方法は利息法によっている。各期への配分方法についてはリース料総額とリース物件取得価額相当額との差額を利息額としている。

(6) 未収収益の計上

期をまたがり当期に完了しない受託契約について年度収益計上の適正化のため、未完了契約に関わる当期の期間経過分を一定の基準で未収金として追加計上している。

(7) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
建物及び附属設備	2	0	0	2
構築物	71,817,837	0	9,241,184	62,576,653
什器備品	12,757,207	0	5,464,526	7,292,681
退職給付引当資産	246,990,542	24,894,758	10,292,200	261,593,100
研究助成事業拡充資金	20,000,000	0	20,000,000	0
小 計	351,565,588	24,894,758	44,997,910	331,462,436
合 計	651,565,588	24,894,758	44,997,910	631,462,436

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本金預金	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
小 計	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
特定資産				
建物及び附属設備	2	(2)	—	—
構築物	62,576,653	(62,576,653)	—	—
什器備品	7,292,681	(7,292,681)	—	—
退職給付引当資産	261,593,100	—	—	(261,593,100)
小 計	331,462,436	(69,869,336)	(0)	(261,593,100)
合 計	631,462,436	(357,420,336)	(12,449,000)	(261,593,100)

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物及び附属設備	1,813,014	1,813,012	2
構築物	184,485,200	121,908,547	62,576,653
什器備品	96,930,090	89,637,409	7,292,681
小 計	283,228,304	213,358,968	69,869,336
その他固定資産			
建物及び附属設備	44,943,430	31,067,975	13,875,455
構築物	515,287,464	273,901,020	241,386,444
什器備品	158,208,688	141,409,203	16,799,485
リース資産	156,178,800	156,178,800	0
ソフトウェア	3,112,046	2,623,097	488,949
小 計	877,730,428	605,180,095	272,550,333
合 計	1,160,958,732	818,539,063	342,419,669

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

貸倒が予見されないため貸倒引当金は計上していない。

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務はない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的債券は保有していない。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
深地層の研究施設を使用した試験研究成果に基づく当該施設の理解促進事業費補助金	経済 産業省	84,358,339	0	14,624,594	69,733,745	指定正味財産
合 計		84,358,339	0	14,624,594	69,733,745	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額	うち、政府機関補助金の金額
経常収益への振替額		
目的たる支出を行ったことによる振替額	0	0
減価償却費計上による振替額	14,705,703	14,624,587
経常外収益への振替額		
特定資産除却損計上による振替額	7	7
合 計	14,705,710	14,624,594

12. 関連当事者との取引の内容

記載すべき事項はない。

13. 重要な後発事象

記載すべき事項はない。

14. その他

(1) 政府機関受託研究収益の内訳

正味財産増減計算書の政府機関受託研究収益に計上の受託調査研究課題等は、次のとおりである。

(単位:円)

委託元	調査研究課題	金額
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	「長大な活断層帯で発生する地震の評価手法の高度化に関する調査研究 サブテーマ1-2:歴史文書の収集分析に基づく地震活動の検討」	7,967,040
文部科学省	科学技術基礎調査等委託事業 「地震調査研究推進本部の評価等支援事業」	251,487,159
合 計		259,454,199

(2) 研究者からの委託を受けて管理を行った科学研究費補助金

研究者からの委託を受け、次のとおり科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金を含む。)の管理を行った。

(単位:円)

当期収入	件 数
(510,000)	3 件
153,000	

(注1) 間接経費を記載し、直接経費については()内に記載している。

(注2) 間接経費については、研究者から譲渡を受け(正味財産増減計算書の「雑収益」に計上。)

研究開発環境の改善等に資する経費に使用している。

(3)リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

公益目的事業における地震観測装置等である。

(4)退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

A 退職給付債務	△ 261,593,100
B 会計基準変更時差異の未処理額	0
C 退職給付引当金(A+B)	△ 261,593,100

③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

A 勤務費用	24,894,758
B 会計基準変更時差異の費用処理額	0
C 退職給付費用(A+B)	24,894,758

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5)資産除去債務関係

当財団は、事務所等の不動産賃貸借契約に基づき、退去時の原状回復に係る債務等を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点において将来退去する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができないため計上していない。

計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(三菱UFJ銀行 新丸の内支店)	163,000,000	0	0	163,000,000
	定期預金(三井住友銀行 神田支店)	45,000,000	0	0	45,000,000
	定期預金(三井住友銀行 神田支店)	92,000,000	0	0	92,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備(東濃地震科学研 究所計測室工事等)	2	0	0	2
	構築物(東濃地震科学研究所地殻観 測井等)	71,817,837	0	9,241,184	62,576,653
	什器備品(東濃地震科学研究所地震 観測装置等)	12,757,207	0	5,464,526	7,292,681
	退職給付引当資産 定期預金(三井住友銀行 神田支店)	246,990,542	24,894,758	10,292,200	261,593,100
	研究助成事業拡充資金 普通預金(三井住友銀行 神田支店)	20,000,000	0	20,000,000	0
	特定資産計	351,565,588	24,894,758	44,997,910	331,462,436

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	18,020,864	18,669,659	18,020,864	0	18,669,659
退職給付引当金	232,542,542	22,710,758	2,144,200	0	253,109,100
役員退職慰労引当金	14,448,000	2,184,000	8,148,000	0	8,484,000

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	現金手許有高		0
預金	<普通預金>	運転資金として	
	三菱UFJ銀行 新丸の内支店	(本部)	819,854
	三井住友銀行 神田支店	(本部)	86,702,070
	三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	64,308,379
	三井住友銀行 神田支店	(つくば観測技術センター)	24,302,420
	三井住友銀行 神田支店	(科学研究費補助金)	0
	常陽銀行 大徳支店	(つくば観測技術センター)	4,057,500
	<当座預金>	運転資金として	
	三井住友銀行 神田支店	(本部)	1,000
	三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	1,000
		<現金預金計>	180,192,223
未収金	西日本技術開発株式会社	受託研究収益	137,500,000
	東京電力ホールディングス株式会社	受託研究収益	113,300,000
	国立研究開発法人防災科学技術研究所	受託研究収益	65,962,478
	その他	受託研究収益等	161,633,000
		<未収金計>	478,395,478
前払金	地震観測装置等の再リース料	地震観測装置等の翌期に係る前払再リース料	16,928,606
	役職員前払通勤交通費	役職員の翌期に係る前払通勤交通費	4,799,480
	土地使用料	地震計設置地点の翌期以降に係る前払土地使用料	4,536,000
	その他	上記以外の前払費用	6,457,326
		<前払金計>	32,721,412
流動資産合計			691,309,113

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	基本金預金	< 定期預金 >		
		三菱UFJ銀行 新丸の内支店	共用財産であり、公益目的保有財産及び管理目的の財源として使用する財産	163,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	81,500,000
			うち、管理目的の財源として使用する財産 50%	81,500,000
		三井住友銀行 神田支店	共用財産であり、公益目的保有財産及び管理目的の財源として使用する財産	137,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	68,500,000
			うち、管理目的の財源として使用する財産 50%	68,500,000
			< 基本財産計 >	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備	東濃地震科学研究所計測室工事等 2件	公益目的保有財産	2
	構築物	東濃地震科学研究所地殻観測井掘削工事等 15件	公益目的保有財産	62,576,653
	什器備品	東濃地震科学研究所地震観測装置等 26件	公益目的保有財産	7,292,681
		< 定期預金 >		
	退職給付引当資産	三井住友銀行 神田支店	当法人全職員の退職給付引当金及び全常勤役員の退職慰労引当金見合の引当資産として管理している。	261,593,100
			< 特定資産合計 >	331,462,436
その他固定資産	建物及び附属設備	本部研究部サーバ室間仕切工事等 13件	公益目的保有財産	12,472,670
		本部事務所LAN配線工事等 8件	(共用財産)	1,402,785
			うち、公益目的保有財産 90%	1,262,508
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	140,277
			< (その他固定資産) 建物及び附属設備計 >	13,875,455
	構築物	本部地震観測点設置工事 48件	公益目的保有財産	241,386,444
	什器備品	地震計等 185件	公益目的保有財産	15,869,676
		本部事務所パソコン等 20件	(共用財産)	929,809
			うち、公益目的保有財産 90%	836,828
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	92,981
			< (その他固定資産) 什器備品計 >	16,799,485

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	ソフトウェア	パソコンソフトWindowsSvrStd等 8件 PCA公益法人会計バージョンアップ料等 2件	公益目的保有財産	242,732
			(共用財産)	246,217
			うち、公益目的保有財産 90%	221,595
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	24,622
			<(その他固定資産)ソフトウェア計>	488,949
	電話加入権	03-3295-1501等 9本 03-3295-1966等 15本	公益目的保有財産	674,856
			(共用財産)	1,132,980
			うち、公益目的保有財産 90%	1,019,682
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	113,298
			<(その他固定資産)電話加入権計>	1,807,836
	敷金	千代田ビル8階 395㎡ (本部事務所敷金)	(共用財産)	21,883,240
			うち、公益目的保有財産 90%	19,694,916
			うち、管理目的の用に使用する財産 10%	2,188,324
			千代田ビル8階 253㎡ (地震調査研究センター事務所敷金)	13,297,080
			北信ビル5階 83㎡ (資料倉庫敷金)	1,023,750
保証金	B・Fビル4階 54㎡ (資料倉庫保証金) 第三芳村ビル3階 102㎡ (つくば観測技術センター事務所保証金)	公益目的保有財産	960,000	
		公益目的保有財産	948,332	
		<(その他固定資産)敷金計>	36,204,070	
		<(その他固定資産)保証金計>	1,908,332	
		<その他固定資産計>	312,470,571	
固定資産合計				943,933,007
		<固定資産内訳>		
		公益目的保有財産(リース資産を含む)		529,780,405
		負債に対応する引当資産		261,593,100
		管理目的の財源等として使用する財産		152,559,502
資産合計				1,635,242,120

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	神田税務署	消費税及び地方消費税の未払分	11,772,800
		構造計画研究所	震度点群を用いた機械学習による震源推定可能性の検討ほか	7,755,000
		㈱エヌエフ回路設計ブロック	高感度地震観測施設の観測機器等予備品管理業務	4,180,000
		その他		54,786,579
			<未払金計>	78,494,379
	預り金	職員等に対するもの	職員及び委員等に対する源泉所得税、住民税、社会保険料の預り金	8,808,955
		委員等に対するもの	委員等に対する報酬源泉所得税の預り金	348,858
			<預り金計>	9,157,813
	短期借入金	三菱UFJ銀行 新丸の内支店	運転資金	120,000,000
		三井住友銀行 神田支店	運転資金	140,000,000
			<短期借入金計>	260,000,000
	賞与引当金	職員に対するもの	2024年度上期職員賞与の引当金	18,669,659
			<賞与引当金計>	18,669,659
流動負債合計				366,321,851
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職給付金の引当金	253,109,100
				<退職給付引当金計>
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤役員の退職慰労金の引当金	8,484,000
				<役員退職慰労引当金計>
固定負債合計				261,593,100
負債合計				627,914,951
正味財産				1,007,327,169

以上のとおり報告いたします。

2024年5月30日

公益財団法人地震予知総合研究振興会

会 長 金 沢 敏 彦


監事監査報告書

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

会長 金沢敏彦 殿

2024年5月30日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

監事 重本 一博 

監事 船田 孝司 

私たちは、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。


以上

独立監査人の監査報告書

2024年5月24日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会
会長 金沢 敏彦 殿

富山恭道公認会計士事務所
東京都千代田区

公認会計士 富山 恭道 

<財務諸表等監査>

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人地震予知総合研究振興会の 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの 2023 事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は

継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した

内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人地震予知総合研究振興会の2024年3月31日現在の2023事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない